

# 県酪連の新年度事業計画

岡山県酪連はさる6月8日、岡山市東田町の県農業会館で昭和38年度の通常総会を開き、37年度業務報告および38年度事業計画のほか、賦課金徴収、借入金の最高限度額ほかについて審議、活発な討議を行ないそれぞれ承認した。

38年度事業計画の概要はつぎのとおりで、惣津新会長就任の初年度として積極的な事業運営が期待されている。

## 1、事業方針

県内酪農事業の中心的推進力として一段と組織強化をはかるとともに、牛乳の消費促進、購、販売事業と乳牛改良事業を一段と推進して、酪農基盤の健全化に努める。

## 2、販売事業

▽生乳の販売の面では国や県の施策、酪農会議の指導、市場の推移等に即応した適正な生乳取引によって、会員の酪農経営に一層の安定化に努める。▽牛乳、乳製品の消費促進につとめる。▽生乳の集荷輸送事業を販売事業の一環として施設整備をはかり、順次実施する。▽乳価安定基金の積立は継続して行ない、基金本来の目的のほか酪農業の進展に役立てる。

## 3、購買事業

▽系統機関による幹旋飼料と完全配合飼料「岡酪三号」に重点を置いて必要量を確保する。▽牧草種子及び酪農資材等の幹旋事業を強化する。▽飼料資材等の取扱いは競合をさけ、会員その他の利用団体と緊密な連携をとり、その普及につとめる。

## 4、指導事業

乳牛飼育の多頭化、協業経営の普及に対処して、これらの経営の健全化を図るため調査、研究会を開催する。なお個体改良事業、乳質改善事業等の強化対策についても調査、研究する。

## 5、乳牛の改良増殖

県の行なう種雄牛性能調査に協力する。

## 6、教育及び情報に関する事業

本会の実施している事業の連絡、周知のほか、会員及び会員の組合員相互の情報交換のための研究会を開催する。

## 7、乳牛の売買幹旋

乳牛の売買幹旋は従来どおり実施する。

## 8、乳牛登録

能率的な活動のできるよう漸次事務改善につとめる。なお、新年度の予算額は総額23億円5千7百万円で、事業収入のうち主なものは生乳販売等22億円、購買事業としての飼料資材供給9千9百万円、登録事業関係1千2百万円などである。